

単元名 絵の具＋水＋ふで＝いいかんじ！（絵）

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 絵の具を混ぜたり重ねたりして、いろいろ試しながら、色や形の感じを見付け、工夫して表すことができる。
 (2) 絵の具を混ぜたり、重ねたり試したりしながら表したいことを考えるとともに、自分や友達の作品を見て、できた色や形のよさや面白さなどを感じ取ることができる。
 (3) 自分の色や形を味わいながら、水彩絵の具で表すことを楽しもうとする。

標準的な展開例

03080102_001

【準備等】画用紙（いろいろな大きさに切っておいたもの）、水彩用具一式、参考作品など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教科書の参考作品を見て、感じたことを話し合い、水彩絵の具による様々な表現を試す。 ○参考作品を見て、感想を話し合う。 ★いろいろな色や形を見付けて絵をかいてみよう</p> <p>○水彩絵の具の基本的な使い方を知る。</p> <p>○自分の色をつくりながら、思いのままにかくことを楽しむ。 ・水を少なくしてかすれさせる ・筆先で点々をうつ ・すうっと線をひく ・太い筆でぐいっと面にする ○できた表現のイメージを発表する。</p> <p>2～4 色づくりを楽しみながら、思いのままにかくことや感覚を通して自分の色や形を見付け、作品をつくる。 ○いろいろな色や形で、思いのままにかく。</p> <p>○かいた色や形を見直し、想像を広げて作品をつくる。</p> <p>5 完成した作品について、発表し合う。 ○自分たちの作品を見合い、色や形のよさや面白さを感じ取る。 ・透き通るような色がきれいだな。 ・線や点がたくさん重なって、楽しい気分になる。</p>	<p>・教科書3・4上 P.8, 9</p> <p>・他にも絵の具の表現を生かした抽象的な作品がある場合は提示し、表現は多様であることを知らせる。 ・線での表現、にじみを生かした表現、重なりを生かした表現を見付けさせ、様々な表現のよさを感じ取らせる。 ・水彩絵の具の基本的な扱い方を指導する。（教科書P.58, 59参照） ・用具を使って、絵の具の出し方、パレットでの混色、筆洗、タオルなどの扱いを一通り示す。 ・絵の具はパレットに全色を出させる。 ・水の加減や筆の動かし方をいろいろ試しながら、試し表す時間を十分に確保し、自分の色や形で表す楽しさを味わえるようにする。 【評】絵の具のできる色や形の感じを見付け、自分なりに工夫して表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・水彩絵の具には様々な表情があることや色や形のもつ魅力などに気付かせる。</p> <p>・つくっている途中で、他の児童の作品も見せて、表現の多様性を確認する。 ・用具の扱いに困っている児童には、水の加減やタオル、パレットの使い方など実際に筆をもつ児童の手に添えて一緒に行う。 ・できた色や形に共感的に寄り添った声かけを行う。 ・片付けにおいて使用できる水道が少ない場合は、絵の具の付いたパレットを水を含んだ筆でこすり、パレットの上で洗い出し、ティッシュ等で拭き取らせるとよい。 【評】様々な色や形の表情から、表したいことを考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・題名を付け、感じたことを発表させる。 ・一人一人の表現の思いが温められるような雰囲気をつくる。 【評】自分や友達の工夫したところ、素敵だなと感じるところを味わう活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】作品やこれまでの学習活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】